

あいざわのまち SDGs宣言 全文

将来に向けて
地球上でくらす、あらゆる 命あるものたちが
より 幸せに生活していゆけるように
そして
だれ一人 取り残さないように
わたしたちは 学びました
当たり前 水が飲めること
当たり前 勉強ができること
当たり前 ご飯が食べられること
それらがすべて
当たり前でない ということ。
ぼくたちは 学びました

今、こうしている瞬間に
安全な水が飲めないことで
失われていく 命があるということ
人間がすてたごみによって
失われていく 命があるということ
海の豊かさ
陸の豊かさ が
失われている ということ
ぼくたちは
わたしたちは
学びました。

木のストローを広めることで
西丹沢で林業に従事する笹原さんの生き方を知ることで
日本に住む、外国の人々をサポートすることで
これからの 地球を
これから生まれてくる 命を
守ろうとしている人々が いることを
わたしたちは
ぼくたちは
変わりました。

今まで興味がなかった ニュースを観るようになりました。
水のだしっぱなしを やめました。
エコバッグを使うようになりました。
公園のごみを 拾うようになりました。

苦手だった給食のぶどうパンを 食べるようになりました。
「大丈夫ですか？」の一言が かけられるようになりました。
ともに過ごす仲間を より大切に思えるようになりました。
はるか遠くにいる人々を 意識するようになりました。
そして、この 美しい地球に
感謝するようになりました。

ぼくたちは
わたしたちは

宣言します。

そして 美しく輝く 瑠璃色の地球を
愛で 包んでいきます。

令和2年 12月19日
あいざわのまち SDGs 宣言

これからさきに出会うかもしれない
わたしたちの 子どものために
ぼくたちの 次の世代のために

悩みにも 負けず
悲しみにも 負けず
銀河に輝く わたしたちの この地球を
守っていきます。

